

# 支援の手だてリスト(具体例)

		⑤ 何の絵でしょう (絵に描かれた)場の状況を理解する力	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
5	教材・教具	12) ・説明の際には、具体物や写真、図などの手がかりを使い分かりやすく説明する 13) ・残りの時間や終わりの時間が分かりやすいように文字や時計の図などを使って提示する ・活動の流れに合わせ、活動時間も明示する	12) ・実際の物やカード、映像などを活用する 13) ・タイムタイマーを活用する
6	板書の工夫 ノート指導	14) ・教科ごとに板書の仕方をパターン化する 15) ・大切なことは色チョークで囲む、下線を引くなどする	15) ・囲みや下線は意味ごとに同じ色で強調する
7	プリントの工夫	16) ・分かるところから始めてよいこと、分からない問題があるときは、次の問題に進んでよいことなどを納得できるように説明しておく	
8	学習環境	17) ・教室内に余計な音刺激がないように配慮する ・掲示物を一時的に隠すためのカーテンなどを利用する 19) ・動きの多い児童生徒や社会性に困難のある児童生徒が同じグループにならないように配慮する ・話しやすい人数のグループにする	17) ・黒板周囲には余計な刺激となる物を設置しない 18) ・集中しやすい座席にする ・教師が声かけしやすい座席にする 19) ・さり気なく接してくれる児童生徒を隣の席にする